

Ⅲ 今後さらに重点的に取り組むべき施策

1 災害時要援護者避難支援プランの推進

今後の方向性

新たな福祉避難所の指定に向けて、民間福祉施設等と協議を行っていきます。また、災害時要援護者登録制度の周知を図って登録を促すとともに、個別支援計画の作成が進められるよう、その作成の仕方や要援護者の支援のポイントなどについてまとめた、支援者向けのハンドブックの作成について取組みを進めるなど、地域における要援護者への支援体制の強化に向けた支援を行っていきます。さらに、災害時要援護者名簿を活用した地域防災訓練の働きかけを行い、平常時から支援者と要援護者とのつながりが深まるよう支援します。

各項目の推移	年度末現在		
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
要援護者登録数	1,473	1,461	1,475
福祉避難所指定数	0	2	8

2 高齢者が安心して暮らせる地域の見守りネットワークの構築

今後の方向性

高齢者支援事業者との連携による見守り事業及び徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業を推進するため高齢者支援事業者の登録数を増やし、高齢者の見守り体制の充実を図ります。また、万一の緊急時に適切で迅速な救命活動が受けられるよう救急医療情報キットの配布者数を増やし、事業の推進を図ります。

各項目の推移と目標値	年度末現在		
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
高齢者支援事業延べ登録者数（事業者）	57	250	319
救急医療情報キット延べ配布者数（人）	84	7,505	9,543

3 高齢者・障がいのある人の権利擁護と啓発・交流活動の推進

今後の方向性

少子高齢化やひとり暮らし高齢者の増加から、今後ますます高齢者・障がいのある人の権利を守る必要があります。成年後見制度の普及・啓発を行い、判断能力が十分でない方々が制度を活用することで安心して生活を送ることができるよう努めます。また、市民後見人の養成について開始時期の検討を進めます。さらに、認知症サポーターの養成や認知症地域サポートモデル事業を実施することで地域住民の認知症への理解を深めます。

平成 24 年（2012 年）10 月 1 日に施行された障害者虐待防止法に基づき、相談窓口やどのようなことが障がい者虐待にあたるのかといった周知に努めます。また、障がいのある方への理解と啓発を図るため、障がい者週間の集いやハートふれあいまつりの開催、障がい者授産製品販売の支援などに継続して取り組んでまいります。

	各項目の推移と目標値			年度末現在
	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 25 年度
認知症サポーター 養成人数（総人数）	4,385	5,513	7,055	
認知症地域サポート モデル事業実施数	—	—	1	

障がい者虐待についての市の相談窓口

名称	電話番号	F A X	所在地
障がい福祉室 （虐待防止センター）	06-6384-1349	06-6385-1031	吹田市泉町 1-3-40 吹田市役所 17 番窓口
内本町地域保健福祉 センター	06-6317-5461	06-6317-5469	吹田市内本町 2-2-12 内本町コミュニティセンター内
亥の子谷地域保健福 祉センター	06-4864-8551	06-4864-8550	吹田市山田西 1-26-20 亥の子谷コミュニティセンター内
千里ニュータウン地 域保健福祉センター	06-6873-8870	06-6873-8871	吹田市津雲台 1-2-1 千里ニュータウンプラザ内

4 児童虐待の未然防止・早期発見と児童及び家庭への支援体制の充実

今後の方向性

近年の核家族化や隣近所のつながりの希薄化から、子育てに関する不安や悩みを抱える保護者が増加していると考えられます。子ども見守り家庭訪問事業や育児支援家庭訪問事業等を始めとした、地域で子育てを応援する事業を継続して実施するとともに、児童虐待への対応力、早期発見力の向上に努めます。また、各関係機関等を対象とした児童虐待防止に関する研修を実施するとともに児童虐待対応マニュアルを作成し、スキルの向上に努めます。

5 社会とのつながりが薄れている子どもや青年世代への支援

今後の方向性

様々な理由から社会とのつながりが薄れている、ひきこもりやニート、不登校状態にある子ども、青年世代及びその家族に対し自立への支援を行います。青少年相談（ぷらっとる一む吹田）や青年期の問題への理解を深める啓発講座、就労に関するニート・ひきこもり相談などを継続的に実施します。また、社会的ひきこもり吹田市ネットワーク会議を開催し、課題解決のため各関係機関と連携することで青年世代への支援につないでいきます。

各項目の推移

年度末現在

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
就労に関するニート・ひきこもり相談件数	14	18	12
啓発講座開催数 (青少年活動サポートプラザ所管分)	5	5	7

